

地域でがんばる人たちへ届けます

「とよなか夢基金」ニュース



愛称「とよなか夢基金」 正式名称「市民公益活動基金」



とよなか夢基金は、
あなたの応援したい心と
社会課題の解決に取り組み
様々な市民公益活動とを
結ぶ豊中市の仕組みです。

その輝きに夢を託して



内容

特集|世界と子どもをつなぐ料理教室「カラフルキッチン」...P2
担当者の思い|住みやすいまち、豊中をめざして.....P4



特集

寄付の成果

とよなか夢基金は、まちを豊かに元気にするさまざまな市民公益活動に助成しています。今号では、助成を受けて3年目、地域の外国人が小学生に母国の文化を伝える料理教室「カラフルキッチン」を実施している「とよなかま」をご紹介します。



団体名とよなかま
 地域住民と地域に暮らす外国人との出会いの場づくりを行う。多文化料理教室や英会話教室を実施。
 平成 23 年 1 月 とよなかま結成
 4 月 とよなか夢基金助成の交付決定
 「カラフルキッチン」がスタート

平成 25 年度は 6 事業に助成を予定しています。今後も取材内容を豊中市のホームページに掲載していきますので、ご覧ください。

世界と子どもをつなぐ料理教室「カラフルキッチン」

みんなの声から生まれました

「外国人をサポートするためではなく、地域の人との出会いやコミュニケーションの場をつくりたかったんです」と話す副代表のスーさん。とよなかまは、このような思いを持ち、外国人と交流のあった 3 人で結成されました。

豊中には多くの外国人が暮らし、外国にルーツのある児童が 119 名(平成 24 年度)います。市内の小学校では、外国語を体験する授業が全国に先駆けて平成 18 年から始まりました。先生の中には、日本語を話せず地域社会と関りにくかった外国人もいました。わが子が通う学校で母国文化を伝え、子どもたちの笑顔に触れるようになったことで自信が回復し、元気になっていきました。「もっと自分の国を知ってもらいたい、役に立ちたい」という外国人の思いを形にしたのが、とよなかまの活動なのです。

外国人に好評です

「カラフルキッチン」は、小学校の授業では取り組めない外国料理の体験教室です。活動に関わる外国人は現在 12 人。普段話す機会のない母国のことを料理を使って紹介できるので、とても満足できると好評で、講師をしたいという人が増えてきています。

料理づくりは手段です

子どもたちは、料理づくりに興味津々。包丁を使って野菜を切ったり火で炒めるなどの調理を通して、それぞれの国の味付けや盛り付け方法などを学びます。また、ぎこちなくても、英語を使って料理づくりを楽しみます。子どもたちが自然に外国人やその母国のことを身近に感じるようになっていくのがわかります。

カラフルキッチンでは、年齢にあった気づきや発見を大切にしています。子どもたちは、外国の文化と自分の家庭を比べることで、とまどうこともあります。

でも、さすが子ども。見たことのないものに対し興味がわき、食べてみようというチャレンジ精神がうまれてくるのです。代表の嵯峨さんは、「子どものうちに他文化に接することで、将来違う考えや文化と出会ったときに、違いを認められるようになってほしい」と思いを話してくれました。

子どもに伝えていきます

日本にいと、外国文化を体験する機会は多くありません。この活動は、お互いの違いに気づきかけへとつながっています。

嵯峨さんのお子さんは、「とよなかま」と出会ったことできっかけをつかみました。大嫌いだっただ英語が、大好きなシャーリー先生と接するうちに、積極的に英語でコミュニケーションをとるようになり、今ではものおじしない性格になりました。嵯峨さんは、この活動が子どもに大きな影響を与えていると確信したそうです。

「もっとたくさんの子に、このような経験をしてほしい」とスーさん。現在、上野小学校と大池小学校に協力していただき、チラシ配布を行っています。参加している子どもの多くが、このチラシを見た保護者に勧められて来ています。もっとこの活動を知ってもらうためには、他の小学校の協力が得られるよう広報の必要性を感じています。



スー・リーさん(左)
嵯峨 吏佳さん(右)

とよなかまのような異文化理解の場がもっと広がってほしいと思います。

参加した子の親の声

子どもに英語に触れさせたいと思い参加させました。カラフルキッチンは、ただ勉強させる英会話教室とは違って、体験から楽しそうに学べます。色々な国の方と接することが好きになってほしいですね。

12月21日(土)13:30~
とよなか国際交流センター
でクリスマス会があるよ

第2回カラフルキッチン

8月8日

講師 マレーシア出身 ウイさん
講師 台湾出身 アメリカ育ち シャーリーさん

My name is...
13:00
まずは自己紹介。照れた様子でみんな元気よく英語で挨拶します。

Let's learn five senses

次に smell(嗅覚)や taste(味覚)などの五感を表す言葉を表情豊かに、ジェスチャーを交えながら勉強します。

13:30
少し場がほぐれた頃、料理作りが始まります。今回のメニューはマレーシア風餃子と杏仁豆腐。上手に包丁を使い豚肉やエビを切っていきます。

What touch is it?

14:00
料理中に五感を表す英単語をクイズ形式で発音しながら作業は進んでいきます。

What smell is it?

15:00
豚肉をミンチにする作業に人気が集まります。子供たちできちんと順番を決めて、トントンとリズムカルに刻んでいきます。

What taste is it?

16:00
料理が完成し、さあ、試食タイム。自分が作った料理に大満足。何回もおかわりをし、お腹一杯、いただきました。

楽しかった!

sedap! (マレーシア語)
haochi! (中国語)
delicious! (英語)

カラフルキッチンとは・・・

毎回、外国人講師を招き、料理や文化を体験する多文化理解ワークショップ。小学3年～6年生の参加者に英語か母国語で授業を行う。出身は、アメリカ・エクアドル・オーストラリア・カザフスタン・韓国・台湾・中国・フィリピン・マレーシア・メキシコなど。

こんなん食べるの?

ぐにぐにや おもしろい

次も来る!

助成事業イベント情報

団体名 ラミヌイック マルシェせんり
ラミヌイック マルシェせんり 2013
 生演奏の音楽と屋外マーケットが一体となり、ヨーロッパの青空市場のような空間を提供します。両日締めは 故郷 大合唱!
 ▼11月9・10日11時~16時
 場所 せんちゅうパル北広場

団体名 NPO法人とよなか歴史と文化の会
館勢街道周辺の景観調査
 旧館勢街道周辺の歴史的建造物及び現在の景観を調査して、まち案内に活用できるパンフレットを作成します。
 ▼まち案内用パンフレット発行
 平成26年3月頃

団体名 SMIILE編集部
とよなか子育て応援マガジン SMIILE
 子育て中の親が中心となり、自らの経験や読者の声を活かした子育て応援情報誌を年2回発行します。
 ▼SMIILE 7号発行
 平成26年3月頃

わたしたちも応援します

寄付者からいただいたメッセージをご紹介します

寄付者のご紹介

平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月に
寄付をくださったみなさま(敬称略・五十音順)

個人

匿名 27 名
久田カズ
西村拓夫
西田正男
遠山一喜
清水高子
島内駿
川野達也
青木康修

団体

匿名 1 団体
南桜塚ゆうの会
特定非営利活動法人ほがらか
豊中マンション管理士会
豊中の市民活動を応援する会
シビックジャズコミュニティ
御菓子司 京屋 浜店
御菓子司 京屋 小曾根店



ご寄付をいただきありがとうございます

市民の声



豊中市の基金の中で、とよなか夢基金は
寄付活用の報告がしっかりしていたの
で、寄付をしました。(Oさん)

とても環境がよく生活しや
すいです。これからもよろし
くお願いします。(Jさん)



私は寄付をできることがとてもうれしい
です。明るい豊中になるように願って
います。(Hさん)

担当者の思い

とよなか夢基金の担当になって2年目。みなさまに様々なこと
を教えてくださいながら、寄付者のみなさまの応援のバトンを地
域で活動している人たちに届けることにやりがいを感じています。

とよなか夢基金は、平成 20 年 12 月に創設し、6 年目になりま
す。平成 25 年 3 月までにのべ 278 人、1370 万円と、多くの方
にご支援いただきました。

寄付者の 8 割以上が市内に住んでいる方。電話でお礼を伝え
ると、「役にたつといいのだけど」と豊中を愛している気持ちが伝

わり、心が熱くなります。また、最近では、
市外からの寄付者も増えていて、基金の
広がりを感じています。

この基金の魅力は、なんといっても様々
な活動に支援できること。福祉、芸術、文
化伝承、環境、子育て支援など。「豊中
をだれもが住みやすいまちにしたい」という、
みなさまの思いに寄付を活用しています。



コミュニティ政策室
島内 駿

住みやすいまち、豊中をめざして

また、この基金は、透明性や公開性が高く、助成金に応募した
事業の審査を行うプレゼンテーションや報告会を誰でもご覧
いただけるようにしています。毎年寄付者の方も出席していただ
いています。

とよなか夢基金は、まだまだ認知度が低く、多くの方
に知ってもらう必要を感じています。寄付という形で市民公益活動
を応援していただくことで、まだ社会に知られていない誰かの困
りごとや様々な課題に取り組む市民団体を身近に感じていただ
きたいからです。これからも寄付者の思いと活動をつなげるため
努力をしていきます。

※とよなか夢基金へ

の寄付は、ふるさと
納税となり、確定申
告を行うことで税金
の控除を受けられま
す(別表)。

実質自己負担が 2,000 円になる寄付上限額
(目安)

区分	単身の 給与所得者	配偶者を 扶養している 給与所得者
年収 500 万円	34,000 円	30,000 円
年収 700 万円	59,000 円	55,000 円

詳しくはお住まいの市区町村住民税担当課へ
(豊中市市民税課 06-6858-2131~2133)